

**【質問】ラスビック点滴静注の取り扱い上の注意は？**

**【回答】**

ラスビック点滴静注キット 150 mgの取り扱う時は、以下の点にご注意ください。

- ①外箱を開封後、酸素検知剤を正常に働かせるため直射日光にさらさないでください。
- ②内袋は使用するときまで開封しないでください。また、開封後は速やかに使用してください。
- ③内袋開封前に酸素検知剤(ピンクの錠剤)の色を確認し、青紫～青色に変色している場合は、使用しないでください。
- ④専用希釈液ボトルの支持筒上部及び栓体(排出口)をシールしているフィルムが万一はがれている時は使用しないでください。

<解説>

- ①酸素検知剤(インジケータ)は、直射日光に曝されると正常に作動しなくなります。
  - ②内袋に包装し、外気を遮断した状態で安定性が担保されています。また、本剤は必ず薬液と専用希釈液を混合して使用する必要があり、誤使用や誤投与防止のため、内袋開封後は直ちに薬液と専用希釈液を混合し、速やかに使用してください。
  - ③内袋のピンホール確認のため、酸素検知剤(インジケータ)が封入されています。
- 酸素検知剤(インジケータ)は、酸素の無い状態で、ピンクの錠剤ですが、酸素の存在下で、青紫～青色に変色します。
- ④フィルムがはがれている時は、汚染等の可能性があります。

出典:添付文書、インタビューフォーム